

Elazzio

SEAT COVER



HONDA

N-BOX

N-BOX Custom

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

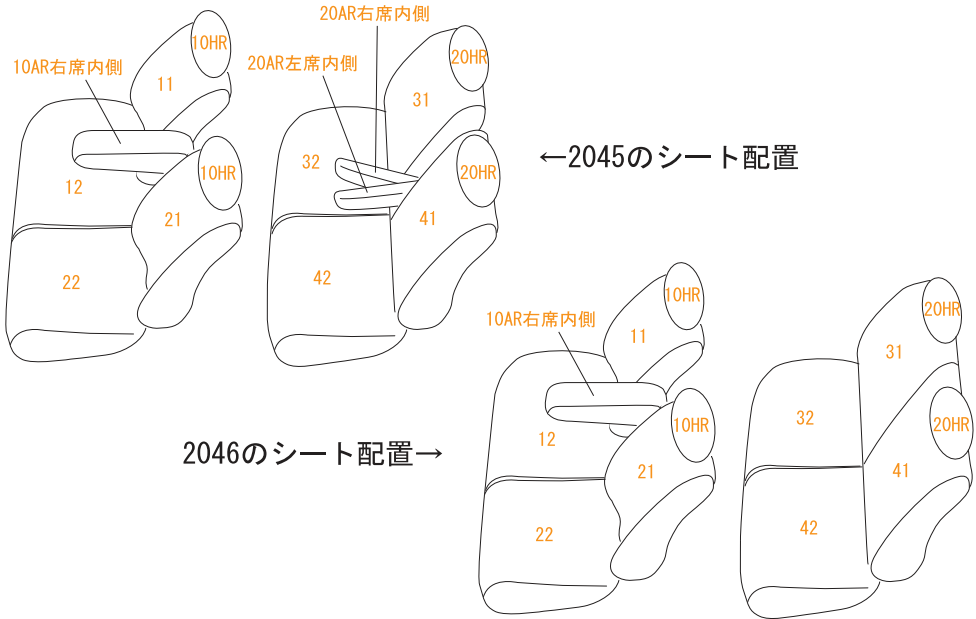
…> 05-24

シートカバーの装着方法

…> 25-26

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- 1 ソケットレンチセット (13mm) ※エクステンションバーは必要に応じてご用意ください
- 2 プラスドライバー
- 3 クラッチフォーク 専用ヘラ (付属)
- 4 六角レンチ (4番) ※シートバックテーブル装着車のみ

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



- 1** カバーは内側面からかぶせます。アームレスト下位置に引っ掛けるようにかぶせます。



- 4** 前側のシートが薄くなっている部分を、シートのラインに合うように馴染ませます。



- 2** カバーをシートの内側面に引っ掛けた状態で、外方向に引っ張り、シート全体にかぶせます。



- 5** シートのラインに合わせて、カバーの位置を整えます。



- 3** シートの内側面の形状に合わせ、カバーを馴染ませます。



- 6** 外側面の生地を、図の矢印位置にある固定具ごとプラスチックカバーとシートの隙間に入れ込みます。



- 7** 隙間の狭い場所は、ヘラ等を使用して生地を入れ込みます。



- 10** 入れ込んだ生地を、背面側から引き出します。配線を隠す為の純正表皮がある車は、生地のかぼんでいる部分でかわすようにして下さい。



- 8** 図の位置に生地を入れ込む際は、プラスチックカバーに対して矢印方向に生地を入れ込むようにします。



- 11** カバー前側に付いているベルトをシートの下側を通し、背面側に引き出します。
※ベルトを通す際は、スライドレバーやシートリフター動作時に干渉しないよう、金属部分の上側を通すようにして下さい。



- 9** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。ゴムが付いている生地も一緒に入れ込んで下さい。
※背もたれの角度を調節し、入れ込みやすい角度で行って下さい。



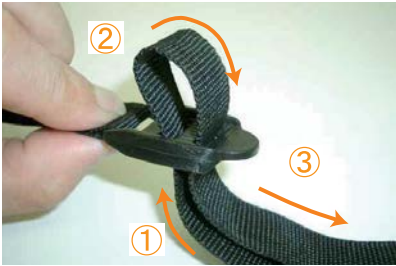
- 12** ベルトを背面側から引き出します。



- 13** 10番で引き出した生地についているバックルに、引き出したベルトを通し固定します。



- 16** 金属フックは、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 14** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 17** シートベルトバックル部に生地を入れ込みます。



- 15** 10番で引き出した生地についているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 18** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。

Step 2

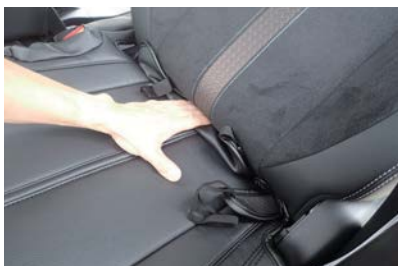
1 列目助手席座面の装着方法



- 1** シートの前側から引っ掛けるようにして、カバーをかぶせます。



- 4** 外側面の生地を、図の矢印位置にある固定具ごとプラスチックカバーとシートの隙間に入れ込みます。



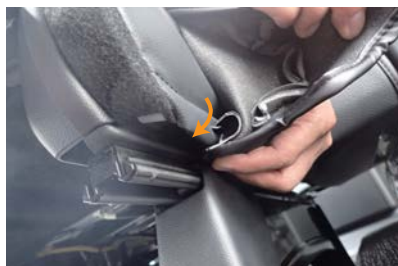
- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。ゴムが付いている生地も一緒に入れ込んで下さい。
※背もたれの角度を調節し、入れ込みやすい角度で行って下さい。



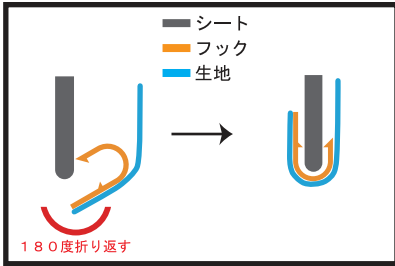
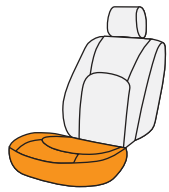
- 5** シートベルトバックル部に生地を入れ込みます。



- 3** 入れ込んだ生地を、背面側から引き出します。配線を隠す為の純正表皮がある車は、生地のかぼんでいる部分でかわすようにして下さい。



- 6** カバー内側面の生地が付いているプラスチックフックをシートのフチに固定します。詳しい固定方法は7番をご覧ください。



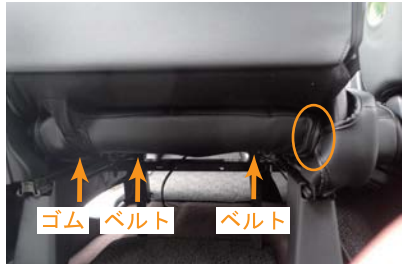
7 生地裏に付いているフックを生地ごと巻き込むように固定します。



10 かぶせた生地と、3番で引き出した生地をマジックテープで固定します。



8 前側の生地にも、図の矢印位置にプラスチックフックがありますので、同様に固定します。



11 運転席座面と同様に、カバー前後のベルトとゴムを固定します。
10番の固定位置は○位置になります。



9 内側面のマジックテープの付いた生地を、シートの角に引っ掛けるようにしてかぶせます。



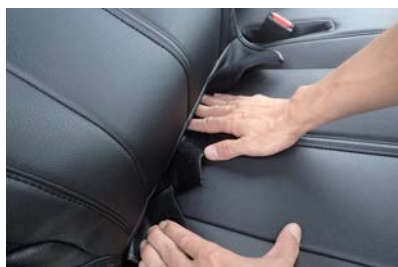
12 カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。

Step 3

1 列目運転席背もたれの装着方法



- 1** アームレストの軸部分のフタを、ヘラ等を使用し外します。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
※背もたれの角度を調節し、入れ込みやすい角度で行って下さい。



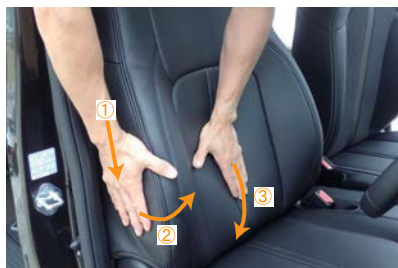
- 2** ソケットレンチ13mmを使用してボルトを外し、アームレストをシートから外します。



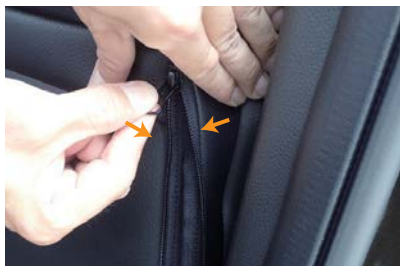
- 5** 入れ込んだ生地を、背面側から引き出します。配線を隠す為の純正表皮がある車は、生地のくぼんでいる部分でかわすように引き出して下さい。



- 3** ファスナーを開け、カバーをシート全体にかぶせます。
※オプションのシートバックテーブル装着車は、カバー装着前に23・24ページをご覧ください。



- 6** カバーをシートに馴染ませます。図のように、①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せていき、寄せた生地を5番と同様に背面から引き出します。



- 7** 生地を内へ寄せながら、ファスナーを閉じます。



- 8** ファスナーの端は、カバーの内側に入れ込みます。



- 9** 5番で引き出した生地に付いているマジックテープと、カバー背面下の生地裏に付いているマジックテープを固定します。



- 10** カバーの加工穴から、ヘッドレストの台座を取り出します。
本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないようにご注意ください。



- 11** 座面カバーと同様に、カバー背面下部の生地に付いているゴムに付属の金属フックを取り付け、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 12** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。助手席背面のコンビニフックを使用する場合は、カバーに穴開け加工が必要になります。加工方法は13番以降をご覧ください。



※コンビニフックの取り外し、コンビニフック部分のカバーの加工
に関しましては自己責任でお願い致します。



- 13** 助手席背面のコンビニフックを使用する際は、カバー装着前にコンビニフックを取り外し、カバーに穴開け加工が必要になります。



- 16** 運転席と同様にカバーを取り付けます。コンビニフックを取り外して穴が開いている部分を指で確認しながら、カバーに印を付けます。



- 14** コンビニフックを取り外します。コンビニフックとシートの隙間にヘラを差し込み、ヘラをひねる事でコンビニフックが外れます。詳しい説明、ツメの形状は15番をご覧ください。



- 17** 印を付けた部分の生地を、ハサミやカッターナイフ等で切り取ります。
※大きく穴を開けてしまうと、フックを戻した際、穴がはみ出てしまう為、始めは小さめに穴を開けるようにして下さい。



- 15** ツメは図のような形状になっています。図の○部分のツメで固定されている為、ツメをシートに対して垂直に引き抜くイメージで行って下さい。※引き抜く際、荷物を掛けるフック部分は引かないようにして下さい。



- 18** フレームに開いている穴に、ツメを差し込み、フックを強く押す事で元に戻すことができます。

Step 4

2列目運転席側座面の装着方法



- 1** シートを跳ね上げて、シート裏に付いているプラスチックパーツをドライバーを使用して外します。



- 4** シートの内側面後ろ側にカバーをしっかりとかぶせます。



- 2** シートの前側からカバーをかぶせます。



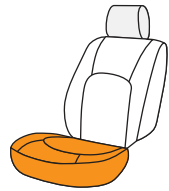
- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3** シート全体にカバーをかぶせます。



- 6** 入れ込んだ生地をシート裏から引き出します。



- 7** カバーの両側面に付いているマジックテープをシート裏で固定します。



- 10** カバー背面の加工穴と、1番で外したプラスチックパーツの穴位置が合っている事を確認し、プラスチックパーツを元に戻します。



- 8** カバーに付いているプラスチックフックをシート裏で固定します。
詳しい固定方法は9番をご覧ください。



- 11** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



- 9** フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



- 12** 座面裏の完成図です。

Step 5

2列目背もたれの装着方法



- 1** 始めに、シート背面下部の純正表皮を固定しているプラスチックフックの固定を外します。
図のように固定部分の隙間にヘラ等を差し込んでひねるようにすると、プラスチックフックが外れます。



- 2** プラスチックフックを外すと、図のようになります。



- 3** 次に、純正表皮がシートのフレームにピンで固定されている為、ピンを真上に引き抜き固定を外します。
※ピンを破損させないように慎重に作業を行ってください。図は手でピンを引き抜いています。内張りはがしなどで行うと作業がしやすくなります。



- 4** ピンの固定を外すと、図のようになります。



- 5** シート内側面の金属部分には、純正表皮がかぶせて固定されている為、金属部分から表皮を外します。
純正表皮を内側に引っ張りながら外すようにすると作業がしやすくなります。



- 6** 全ての固定を外すと、図のように表皮をめくり上げる事が出来ます。
この状態でカバーの取り付けを行います。



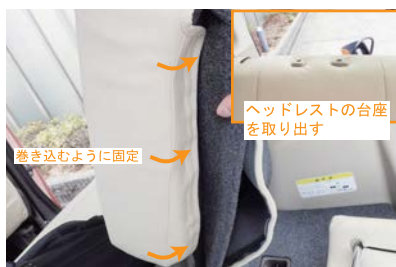
- 7** シート全体にカバーをかぶせます。
※アームレスト装備車は、19～21番をご覧ください。



- 8** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 9** 入れ込んだ生地を座面を跳ね上げて引き出します。



- 10** カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出し、カバー内側面のマジックテープが付いた生地を、シートを巻き込むようにして、シート裏（シートと背面のボードの隙間）に直接貼り付けて固定します。



- 11** 9番で引き出した生地の外側のマジックテープが付いている生地を、シート外側面を通し背面側に回します。



- 12** 内側の生地も同様に背面側に回します。この時、5番で純正表皮が固定されていた金属部分を、カバーの加工穴に通して下さい。



- 13** 11番と12番で背面に回した生地が付いているマジックテープ同士を、背面の純正表皮をめくり上げた箇所固定します。カバーに開いている加工穴と4番で外したピンの固定穴が合っている事を確認して下さい。



- 14** 1～5番で外した箇所を全て戻します。
金属部分→ピン→プラスチックフックの順で戻して下さい。



- 15** カバー背面の生地裏に付いているマジックテープをシートに直接貼り付け固定します



- 16** シートを倒した状態で、9番で引き出した生地が付いているファスナーと背面下部に付いているファスナーを、生地を内へ寄せながら閉じます。ファスナーの両端はカバーの内側に入れ込みます。



- 17** 肩口のレバーとシートとの隙間に生地を入れ込みます。隙間がかなり狭い為、レバーを上げるとネジが見えますので、ドライバーを使用し、ネジを緩めると作業が行いやすくなります。



- 18** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取付けます。



- 19** シート全体にカバーをかぶせます。
カバー内側面の加工穴は、アームレストを取り出す為のものです。



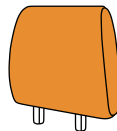
- 20** カバーの加工穴からアームレストを取り出します。



- 21** アームレストの付け根まで、しっかりカバーをかぶせます。
※この後の取り付け方法は、8番以降をご覧ください。

Step 6

1 列目ヘッドレストの装着方法



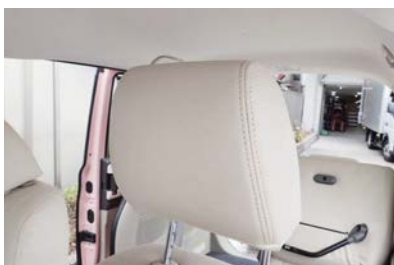
- 1** カバーを半分程裏返した状態で、かぶせませす。先端がしっかりフィットするようにかぶせて下さい。



- 4** カバー前後に付いているプラスチックフックをヘッドレスト裏で固定します。詳しい固定方法は、14ページ9番をご覧ください。



- 2** カバーを左右交互にずらしていき、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせませす。



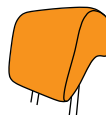
- 5** ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 3** ヘッドレストを台座から外し、左右の生地に付いているマジックテープ同士をヘッドレスト裏で固定します。

Step 7

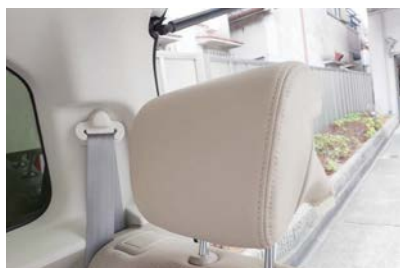
2列目ヘッドレストの装着方法



- 1** ヘッドレストの後ろ側から引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 4** カバー裏のプラスチックフックを固定します。



- 2** カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



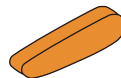
- 5** ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



- 3** ヘッドレストをシートから外し、カバー裏に付いているマジックテープ同士をヘッドレスト裏で固定します。

Step 8

1 列目アームレストの装着方法



- 1** カバーを半分ほど裏返した状態で、アームレストのラインに合わせてかぶせます。先端がしっかりフィットするようにかぶせて下さい。



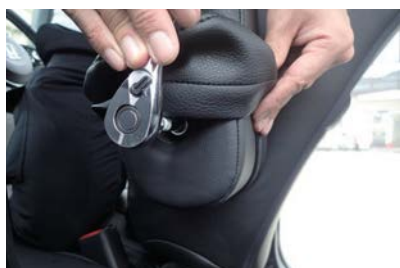
- 4** 生地同士を内へ寄せながら、ファスナーを閉じます。



- 2** 生地伸びを利用して、アームレスト内側面に生地を引っ掛けるようにかぶせます。



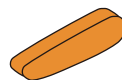
- 5** カバーのラインを整えて、1 列目アームレストの完成です。



- 3** アームレストを元に戻し、外側面の生地をかぶせます。
※外したフタを戻し忘れないよう注意して下さい。

Step 9

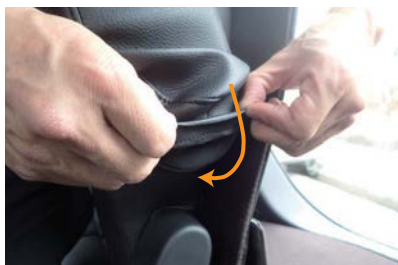
2列目アームレストの装着方法



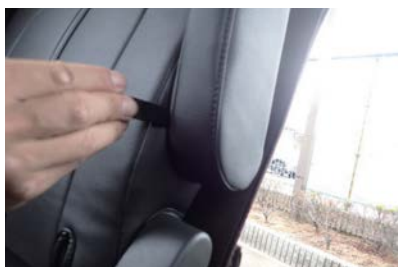
- 1** カバーを半分ほど裏返した状態で、アームレストのラインに合わせてかぶせます。先端がしっかりフィットするようにかぶせて下さい。



- 4** カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



- 2** 生地伸びを利用して、アームレストの根本に生地を引っ掛けるようにかぶせます。



- 3** ヘラ等を使用し、かぶせた生地をアームレストの隙間に入れ込みます。

オプション：シートバックテーブル装着方法



- 1** オプションのシートバックテーブル装着車は、カバー装着前にバックテーブルを取り外します。



- 4** ボルトを外し、テーブルを手前に引くようにするとシートからテーブルが外せます。
※外したテーブルは傷つけないよう、注意して下さい。



- 2** テーブルを持ち上げると、テーブルの下側にボルトが見えます。(計6ヶ所)



- 5** テーブルを固定していたボルト穴です。中央2ヶ所の○印の穴は、テーブル側に付いている突起状のパーツが刺さる穴になります。この状態で、シートカバーを装着します。



- 3** 六角レンチ（4番）を使用し、6ヶ所全てのボルトを外します。



- 6** カバーの上から、ボルトと突起物が刺さる穴位置に穴開け加工用の目印を付けます。(計8ヶ所)



- 7** カバーの上から穴位置を探るのが難しい場合は、一旦ボルトを元に戻しておく、穴位置が探しやすくなります。突起物の刺さる穴位置は、上側のボルト位置からの距離を測り、目安して下さい。



- 8** カバーに付けた目印位置に、ハサミやカッターなどで穴を開けます。
※作業は慎重に行うようにして下さい。



- 9** 穴が小さすぎると、ボルトを戻す際に生地が干渉してしまいます。テーブルを戻した際に、隠れる程度の穴を開けると作業がしやすくなります。



- 10** テーブルを外した逆の手順で元に戻します。
※この際、ボルトを強く捻じ込み過ぎると、テーブルやボルト、ボルト穴を破損する恐れがありますので、適度にボルトが回らなくなる位置で固定するように調整して下さい。



- 11** テーブルを固定し、シートバックテーブル装着車の完成です。
運転席・助手席共に同じ方法で装着します。



- 12** バックテーブルを折り畳んだ際に、テーブルに浮きなどがでないか確認して下さい。テーブルが上手く折り畳めない場合は、ボルトが正しく固定出来ていない可能性がありますので、固定を見直して下さい。

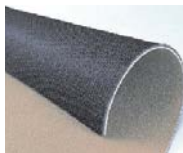


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCLレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816